

令和元年 11 月 9 日

田中議員

坂戸市役所 環境政策課 衛生担当御中

坂戸いきものがかり

## ペットの災害時避難について（提言）

令和元年 10 月 12 日午後から夜半にかけ、台風 19 号が坂戸を襲い、河川の水位上昇でレベル4の勧告がでて大多数の坂戸市民が避難しました。結果、坂戸市は「激甚災害指定」となりました。

ペットは子どもの数よりも多く、家族の一員となっている世帯が増えており、ペットが心の支えとなっている例も多数あります。災害時のペットの避難は人命を守るうえで重要な位置にあり、それについて提言させていただきます。

### 同伴避難ができたこととその御礼

坂戸いきものがかりは、ペット及びその飼養者（市民）の皆さんが避難所でどのような対応をされるのか大変心配しておりました。しかしながら、12日の夕方および13日の朝に推進員有志が、「ペットが避難していたという避難所」を訪問し、職員さんや避難なさっている飼養者さんのお話を聞くことができ、貴重な情報収集ができました。その内容については後述。※

避難所では、何のトラブルもなくペット同伴避難ができていたことがわかり大変うれしく思いました。これは、坂戸市長の「市民に寄り添う避難所運営を」との方針と避難してきたペットと飼養者（市民）さんに臨機応変に対応した職員の方々のおかげと心から感謝いたします。

例としてガンを患っていた猫が避難しておりました。飼養者（市民）さんもその猫も側で過ごすことができ安心し、避難所で安全でいられました。避難してきた犬たちも飼養者（市民）の側にいられたことによりパニックに陥らず吠えることもなく時間をすごすことができたようです。

### 今後のペット同伴避難を可能にする災害予防対策について

今後、坂戸市は今回のような「洪水災害」に見舞われる可能性が大きいと思われます。「坂戸市地域防災計画 予防—56」に記載のように平常時から事前準備がとても大事になります。行政・関係機関の飼養者（市民）への啓発をよりいっそう積極的に行うよう提案いたします。

坂戸いきものがかりとしては坂戸市主催の啓発活動にアイデア、協力を惜しみません。又、坂戸市以外のペット防災に知見豊富な彩の国動物愛護推進員の力を借りることもできます。

坂戸いきものがかりは、飼育マナーの向上や適正な飼育によりペットとの同伴避難が可能であると考えます。ペット同伴避難できるペットは飼養者の高い防災意識のもとに事前準備の十分にできている場合であると考えています。

定期的に主催して頂きたい啓発活動の例として

- ◆ 総合防災訓練にペット同行避難（同伴避難）を組み入れる
- ◆ ペット同行避難（同伴避難）とは何かを飼養者（市民）が学ぶセミナーの開催
- ◆ ペットが避難所ですぐすための基本的なしつけを飼養者（市民）が学ぶセミナーの開催

## ペット同伴避難の可能性について

避難所内の飼養環境の例として、以下の4つが考えられます。（環境省、人とペットの災害対策ガイドライン、一般飼い主編より）

- 1) 室内同居
- 2) 飼養者と非飼養者が別々に分かれて室内同居
- 3) ペット飼養部屋を作り室内別居
- 4) 屋外飼養

今回の坂戸市での避難所別でいうと若宮中学校が1)に該当し、勝呂小学校が2)に該当していました。千代田小学校、千代田中学校、南小学校は2)に準じていた形でした。

しかしながら、人畜共通感染症などのリスク、ペットのストレス、動物アレルギーや動物嫌いな人の存在を考慮に入れ、2)飼養者と非飼養者が別々に分かれてなおかつ犬猫別々の室内同居がベストだと考えます。そのような飼養環境の避難所を設営することを提言いたします。

**ペット同伴避難をした実績のある自治体は、西日本豪雨で被災した岡山県総社市と倉敷市があります。（千葉市美浜区、豊島区など確認中。）**

## 避難所運営マニュアルのペットの項目を見直す案について

坂戸市地域防災計画 震災-36に「避難所運営マニュアルに基づき」と記載がありますが、ホームページには「避難所運営マニュアル」の掲載がありませんでした。入手して内容を確認しました。

「避難所運営マニュアル」によりますと、初動期は災害発後～3日程度となっており、応急的な避難所運営と記載があります。この時点では、まだ避難所運営本部の設立がなされません。つまり、ペットの項目に記載の内容はまだ発動されないということです。ペットの項目は避難所運営本部が設立され、役割を担う班が編成されてからの作業となります。

今回の台風による避難所は、大半が初動期に解散になっております。しかしながら、台風の去った翌朝に河川の水位があがりレベル4の避難勧告がでるなど、状況が複雑化しています。複雑な状況下でのペットの避難所での取り扱いについて「ペット避難所運営連絡協議会」のようなものを発足させてきめ細かに対応できるようにしてはいかがでしょうか？

防災に高い意識のある飼養者と事前準備の万全なペットを大前提とした同伴避難のガイドラインを固めることは、突然の災害時の避難所運営にとっても有効だと考えます。

### ※ ペットを受け入れている避難所で得た情報

場所	確認者	確認日時	確認内容
千代田小学校	高梨	10/12 17:50	坂戸市立千代田小にて同伴避難の情報あり到着し校長・市議にお話を聞いた所ペットの問合せが一件きたが受け入

			れなし
千代田中学校	高梨	10/12 18:10	<p>坂戸市立千代田中に到着            体育館二階に同伴避難受け入れを確認            猫 2 匹犬 6 匹の 7 家族が避難            そのうち猫 1 匹は癌により下顎欠損の闘病中（薬持参）            高齢者と共に避難している方もいる中二階までの階段がある事は懸念事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猫はキャリーに入っていた</li> <li>・犬はキャリー持っていてリードを付けて飼い主と共に毛布の上</li> </ul> <p>☆どの犬も吠えずに避難出来ていた            ☆ペットシート・フード・水も持参済み</p>
		10/13 5:30	<p>坂戸市立千代田中            ペット同伴避難の方は帰宅済み            ほとんどの方は風が止んだ時点で帰宅、目立つ混乱無しと市職員から報告有り。又防災安全課にペット同行避難を提言したいと話していた。</p>
南小学校	高梨	10/13 5:50	<p>坂戸市立南小            ペット同伴避難者は体育館でなく校舎 1 階の 2 部屋に 4 組くらいつつ居た模様            ☆浅羽野より避難された方            30 代男女犬 1 匹、12 日 17:00 くらいに高麗川の氾濫警報によりペットがダメと言われても無視するつもりで来校</p> <p>[人間の子供はオムツも有るのに犬には何も無いのが一番の不満]との事環境省のペット防災対策の冊子を渡し自助努力もお願いすると共に市での対応も推進したいとお伝えした</p>
若宮中学校	伊藤	10/13 6:40	<p>台風が真夜中に通過し、その後天気が急速に回復した。そのこともあって、朝 6:40 に到着した時は避難されている方は一人もいなかった。職員さんに話を聞くと、猫 3 匹、犬 6 匹の 9 世帯が避難してきたとのこと。市より「市民に寄り添う対応を」と言われたとのことで、同伴避難として受け入れたとのこと。他の避難者からは何のクレームもなかったとのこと。</p>
勝呂小学校	伊藤	10/13 7:30	<p>こちらでは避難された方がまだおりました。ペットの件でお話を伺いたいと話したところ同伴避難の部屋を急遽用意してその部屋に入ってもらったとのことで、案内してくれました。</p> <p>猫が 1 匹とそこご家族がまだおられました。家が水没したとのことケージトイレフード全て持参で来られています</p>

			<p>した。不足品を聞きましたが大丈夫とのことでした。避難してきたペットは猫3匹と大型犬を含む犬6匹とのこと。猫、犬一緒の部屋。残っておられた方の話では、何の問題なく過ごしたとのこと。</p> <p>職員さんはペットがきてどうしようか困り、学校の先生に掛け合い空いてる部屋を提供してもらってそこにペット同伴避難をしてもらったとのこと。職員さんいわく、市長が視察した際に「ペットについて柔軟に対応してありがとう」と語ったとのこと。</p>
--	--	--	--

#### 高梨推進員の所感

☆10/12pm8:30 坂戸市避難所ペット受け入れの連絡を伊藤推進員より頂きラインとインスタにて情報拡散。

市からの情報が防災メールになかった

☆早めの避難された方は意識が高いのか準備が整っていたが今後避難が長くなる時にはこの状況では大混乱が起こると強く感じた

☆避難案内がなくてもペット同伴避難者は避難所に来る

#### 伊藤推進員の所感

坂戸は災害がない街だと思っていたが、ついに来て、職員さんは避難所設営運営は大変だったこととお察しします。ペットに関するマニュアルがなかったにも関わらず、嵐の中逃げてこられた市民の皆さんとペットをどうにかしようとペット同伴避難ができるように動いてくださったのだと感じた。今後の早急な課題であることが十分理解できた。(後でわかりましたが、ホームページ上に公開されていない平成25年1月付け「避難所運営マニュアル」の存在があり、ペットの項目の記載がありました。)